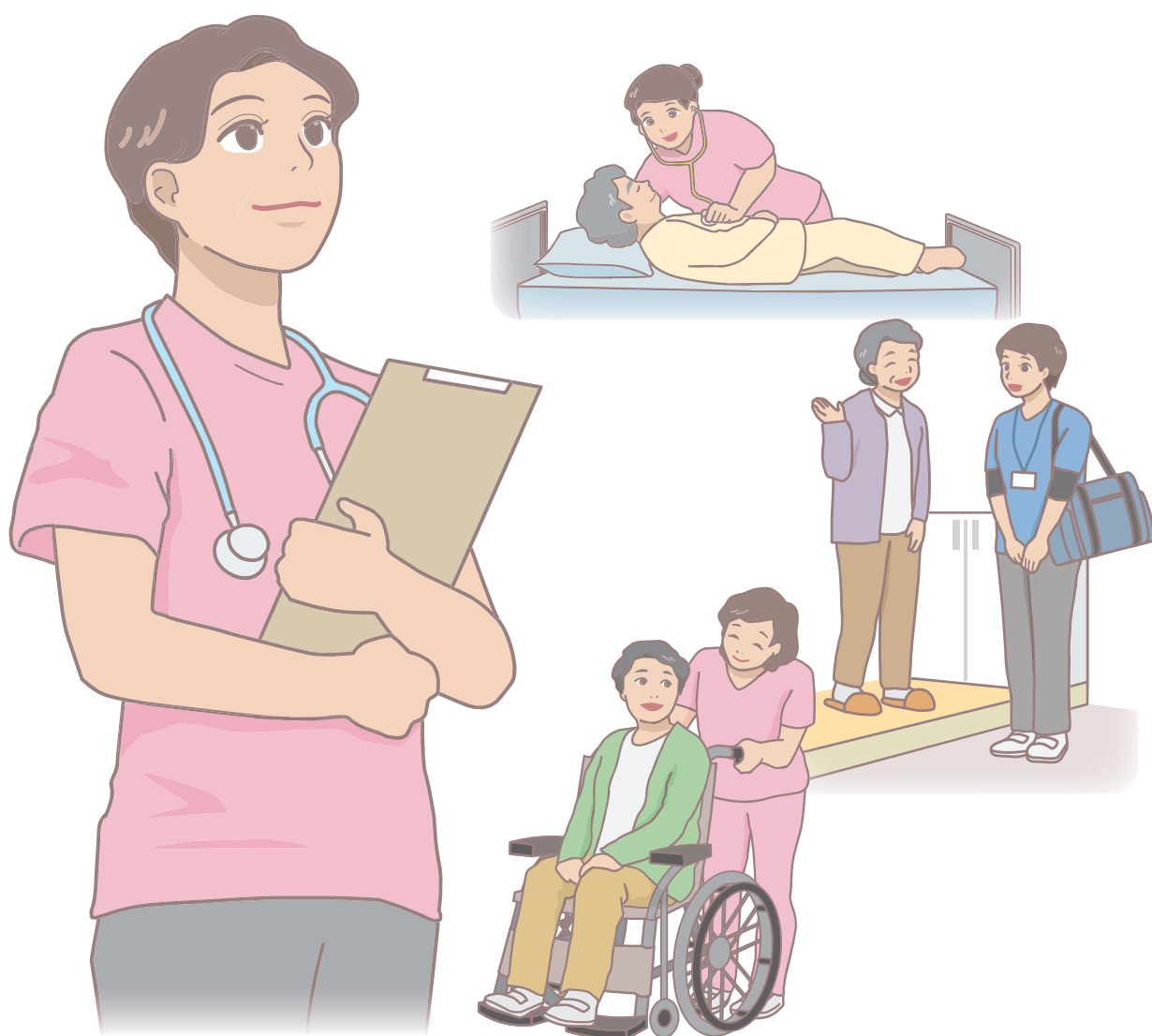


看護職のキャリアを活かせます!

こんなこと知りたかった 介護・福祉の職場



プラチナナース セカンドキャリア支援事業

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人長野県看護協会
長野県ナースセンター



看護職のみなさまへ

少子高齢化が進む中で、医療機関ばかりではなく介護・福祉の職場でも看護職の活躍が期待されています。

今回は、介護や福祉の職場の役割や看護職としてのやりがい、看護職はどのような仕事をしているのか、夜勤体制はどうなっているのか、先輩看護職からのメッセージなどをまとめました。

是非、看護職が働ける職場のひとつとして介護や福祉の職場について知り、今後の就業を考えるための参考にしてください。

ここで紹介する施設

施設等で生活

- 介護老人保健施設 2
- 特別養護老人ホーム 3
- 介護医療院 4
- 有料老人ホーム 5
- 認知症グループホーム 6

自宅に訪問

- 訪問看護ステーション 7

通い・宿泊を組み合わせる

- 看護小規模多機能型居宅介護 8

施設に通う

- デイサービス・デイケア 9

障害者施設

- 指定療養介護事業所（療養介護） 10



介護・福祉施設で働く看護職の役割と業務

役割

介護福祉施設は、病気の治療や医学的管理を目的とした病院などの医療機関とは異なり「生活の場」です。勤務する看護職の役割は、主に施設に入居している高齢者等の健康管理や薬の管理などです。介護職が日常生活のサポートをするのに対し、看護職は医療や看護の立場から入居者をサポートすることが求められています。

さらに医師との入居者の間で調整を行い、安全で質の高いサービスを提供するために介護職員やその他のスタッフとも連携を図ることが求められています。つまり、チーム医療を行う一員として他の職種の人たちとも常にコミュニケーションをとることが重要です。また、医師の常駐しない施設では応急処置など自主的な判断と行動が求められる機会が多くなります。

仕事内容

健康管理に関する業務

- バイタルチェック
(体温や血圧を測定する)
- 口腔ケア
- 爪切り
- 耳垢除去



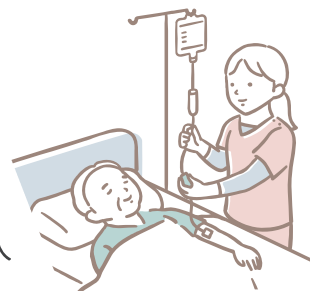
療養に関する業務

- 経管栄養の実施
- 軟膏の塗布
- 湿布の貼付
- ケガや創傷処置
- 人工肛門などのストーマ装具の交換
- 自己導尿を補助するカテーテルの準備
- その他、医師から指示された医療処置



医師の指示や指導の下で行う医療業務

- 投薬
- 点滴
- 採血
- 痰の吸引
- 床ずれの観察・処置
- 尿道カテーテルの挿入



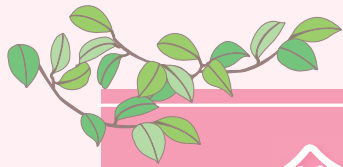
食事介助・入浴介助も行うの？

食事介助は介護士が行いますが、利用者が誤嚥する恐れがある場合は看護職が介助を行います。入浴介護は通常介護士が行いますが、人手が足りないときやカテーテルや褥瘡があるため入浴前後に医療処置が必要な場合など、状況によって看護職も入浴介助をすることがあります。

また、利用者が入浴が可能かどうかの判断は、看護職がバイタルチェックをして行います。

その他、入浴前後の更衣をするときに、全身の皮膚を観察することも重要です。また、入浴後に軟膏塗布や湿布の貼付を行うこともあります。





1

介護老人保健施設

施設の概要

施設等で生活

在宅復帰を目指している方の入所を受け入れ、入所者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、リハビリテーションや必要な医療、介護などを提供します。



夜間の体制はどうなっていますか？

多くの施設で交代勤務をして24時間体制をとっています。



働いている看護職 M・Hさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A

病院勤務時代、何例もの看取りケアに携わってきた中で、もっとその人の生活やご家族と深く関わり、人生の集大成である看取りに向けてじっくりと関わることができたら、と思いついて病院と在宅の中間施設である老人保健施設への就職を選びました。

Q この施設で仕事をし、嬉しかったこと、やりがいなどは何ですか？

A

生活の場で共に過ごさせていただく中で笑顔が見られること、長期に渡りじっくりと関わることができること、その中で私たち看護師に何が出来るか日々考えています。看取りケアにも正解はありませんが、ご家族にとって後悔のない看取りが行えた時には大きなやりがいを感じます。

Q この施設で働くことを考えている看護職の方へのメッセージ

A

基礎疾患や身体的な機能低下のある人の生活を支えるために、私たちに何が出来るのか、多職種と協働し日々学んでいます。悩むことも多いですが、利用者さんにとって良い方向に向かうような取り組みができた時は喜びややりがいを感じます。看護師も利用者さんと野菜を切ったり一緒にお祭りに参加したり。共に過ごし、笑顔で過ごす時間もあります。生活に寄り添い、その人が笑顔で過ごせるように支援する。それも大切な看護ケアなんだと思います。



2

特別養護老人ホーム

施設の概要

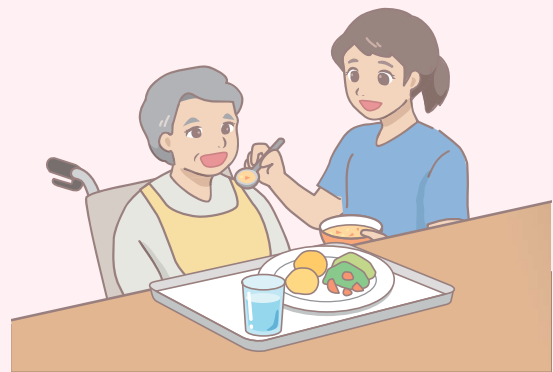
施設等で生活

入所者が可能な限り在宅復帰できることを念頭に、常に介護が必要な方の入所を受入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の世話などを提供します。



夜間の体制はどうなっていますか？

夜間交代勤務の看護師がいない施設もあります。そのかわり、オンコールの対応がある施設が多い印象です。



働いている看護職 S・Kさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A 33年間病院勤務をし、次のステップとしては学んできたスキルを活かして、もっとゆったりと人と関わっていきたく思っていました。そんな時、近くに特養が新設されることになり、自分たちで立ち上げていくことに興味を感じたので選びました。

Q この施設で仕事をし
ていて、嬉しかった
こと、やりがいなど
は何ですか？

A 他職種とも連携が取れており、情報が共有できているところ
です。また、ご本人やご家族の意見を尊重し、ご家族と
一緒に看取ることができ「この施設で過ごすことができ
てよかった」等の感謝の言葉をいただいた時には嬉しく思い、
やりがいを感じています。

Q この施設で働くこと
を考えている看護職
の方へのメッセージ

A 私が勤務する施設では挨拶を基本としており、人間関係が
よい職場です。医師が常駐されていないため、これまでの
経験を生かし、判断、対応が求められるため、そこに面白
さを感じます。



3

介護医療院

施設の概要

施設等で生活

長期にわたって療養が必要である方の入所を受け入れ、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、療育上の管理、看護、介護、機能訓練、その他必要な医療と日常生活に必要なサービスなどを提供します。



夜間の体制はどうなっていますか？

交代勤務をして24時間体制をとっています。



働いている看護職 E・Kさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

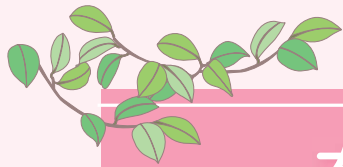
A 20～30歳代は総合病院で様々な病棟勤務を経験し、その後、子育て・転居に伴い40歳代で今の職場に転職しました。通勤距離や施設の規模、業務内容を見て選びましたが、病院に比べ入退所の少ない施設なので利用者さんとじっくり関わることが魅力だと感じます。

Q この施設で仕事をしっていて、嬉しかったこと、やりがいなどは何ですか？

A 日々の利用者さんたちとのかかわりの中で交わす会話や表情でよい反応が得られた時は嬉しく思います。一方、長い間かかわってきた利用者さんをお看取りすることも多いです。それぞれの利用者さんや家族が望む最期を見届けられるのは大きな責任があるとともに大きなやりがいでもあります。

Q この施設で働くことを考えている看護職の方へのメッセージ

A 「介護医療院」は医療機能と生活施設としての機能を備えた施設です。今までの看護経験を活かし、多職種と連携することで新たな発見や視野を広げることができるため自己の成長につながると思います。また、高齢者の終末期ケアや看取りの経験を通し、「看護観」や「死生観」について考えさせられることが多く、職場の仲間と考えを深め合うことができます。他の老人福祉施設に比べ、看護師の人員配置が多いため心強い職場でもあると思います。



4

有料老人ホーム

施設の概要

施設等で生活

利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、指定を受けた有料老人ホームや軽費老人ホームなどが、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供します。



夜間の体制はどうなっていますか？

多くの施設で交代勤務をして24時間体制をとっています。



働いている看護職 S・Rさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A もともと終末期ケアに興味がありました。第二の在宅としてゆっくりと経過する時間の中で安心、安全に人の存在を近くに感じることができ、その人らしい最期を迎えられるような終末期ケアが提供できると思い転職を決意しました。

Q この施設で仕事をしていて、嬉しかったこと、やりがいなどは何ですか？

A 終末期の場面にて、家族と一緒に過ごせる時間を作り、好んでいたお酒を提供しました。また共感することを大切に声掛けを行い、寄り添ったケアを提供しました。ご家族様より「この施設に入居して本当によかった。ありがとうございました」という発言が聞かれた時は、私が感謝の気持ちでいっぱいになりました。

Q この施設で働くことを考えている看護職の方へのメッセージ

A ご本人の嗜好に合わせ、喫煙や飲酒等の提供ができるほか、在宅での生活を本人、家族と共有し、より在宅に近い環境を提供できる施設となっています。また医療依存度が高い利用者様にも往診医や多職種と連携することで安心した医療を24時間体制で提供することが可能です。利用者一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活を送れるような在宅医療を目指しています。



認知症グループホーム

施設の概要

施設等で生活

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供するサービスです。利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、認知症の利用者が、グループホームに入所し、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などのサービスを受けられます。



夜間の体制はどうなっていますか？

施設によって様々です。常勤義務がないので、日中でも外部機関と提携し看護師を常駐させていない施設もあります。



働いている看護職 H・Nさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A

病院の忙しさしか知らない環境の中で、看護師の仕事を経験してきました。姑がグループホームを利用する中で、利用者とうっとりとした関わりがもて、自分の対応一つで利用者の反応が変わり、そっぽを向けられたり、笑顔で受け止めてくれたりとする反応に魅力を感じたからです。

Q

この施設で仕事をしています、嬉しかったこと、やりがいなどは何ですか？

A

入所前は、ご自宅で暴言を吐いたり時折暴力を振るわれていた利用者が、入所されてから本人の希望を優先させることを職員間で統一したことにより、硬い表情が柔らかくなり笑顔を見せてくれるようになりました。ご家族が面会に来られた時に「ご苦労さん」と言われた事に「嫌な父親のままで終わらなくて良かった」と息子さんの笑顔が見られた時にやりがいを感じました。

Q

この施設で働くことを考えている看護職の方へのメッセージ

A

認知症の利用者が家庭的な環境と地域住民との交流の中で、自分の能力に応じた日常生活を営めるように、職員全員で支援しています。職員間の横のつながりは強く、何でも言い合える働きやすい職場です。利用者と共に食事の支度、片づけ、おやつ準備などを行える限り自立した生活を行っています。「利用者と一緒に何かを作る」そんな楽しみを是非感じてみてください。看護師の配置義務はありませんが、今看取りまで行っているグループホームもあり、看護師の需要はこれから益々あると思います。

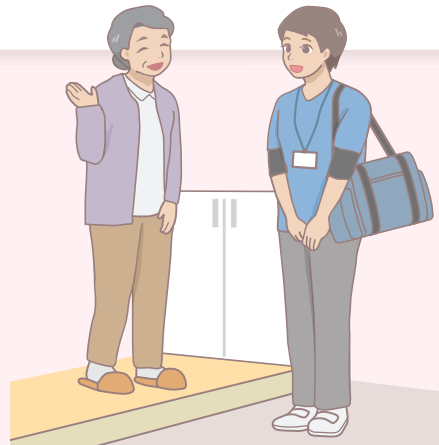


訪問看護ステーション

施設の概要

施設等で生活

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の心身機能の維持回復などを目的として、看護師などが疾患のある利用者の自宅を訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行います。



夜間の体制はどうなっていますか？

多くの施設がオンコールで24時間体制をとっています

働いている看護職 A・Yさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A 病棟勤務にもやりがいを感じていましたが、退院していく患者さんがどのような生活をしているのか気になっていました。また、1人の利用者さんにじっくりと向き合い、寄り添う看護ができる訪問看護に興味を持ちました。夜勤業務がないことも、自分のライフサイクルに合い、長く続けられると思いました。

Q この施設で仕事をし
ていて、嬉しかった
こと、やりがいなど
は何ですか？

A コロナ禍で病院の面会制限が続く中、在宅療養・在宅看取りを選択する方が増え、時代が求める看護に応えることができていると感じます。在宅看取りでは、利用者・家族の希望に寄り添えた時、家族と一緒に泣きながら思い出話をし、エンゼルケアをしました。笑い声が聞こえるエンゼルケアを体験したのは初めてでした。あの時の、悲しみの中にも安らかさと温かさを感じた在宅看取りが忘れられません。

Q この施設で働くこと
を考えている看護職
の方へのメッセージ

A 利用者・家族の笑顔を見るたびに、住み慣れた場所や慣れ親しんだ食事など、いつもの暮らしの中で療養できることの素晴らしさを日々感じています。利用者・家族が辛い思いになることもあります。在宅だからこそ支援できることに溢れ、喜びや達成感を共に感じています。利用者・家族と向き合い、その人らしく生きることを支援する看護はとても魅力的で、訪問看護はやめられません。



看護小規模多機能型居宅介護

施設の概要

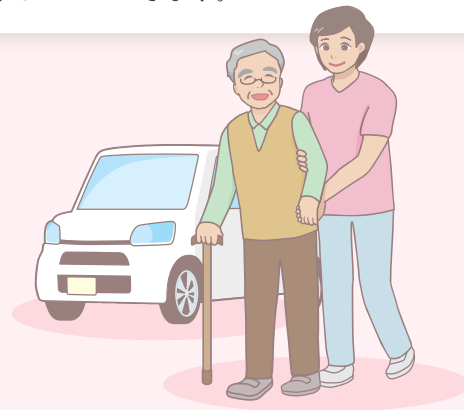
訪問・通い・宿泊 を組み合わせる

利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができます。



夜間の体制はどう なっていますか？

24時間365日運営しているため、夜勤や宿直があります。



働いている看護職 H・Sさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A 訪問看護を20年ほど経験し、看多機の必要性を強く感じるようになりました。病院の皆さんのご協力により立ち上げから関わり、役職定年を迎えても少しでも力になればと思い現在も勤務させていただいています。在宅療養者の力になりたいという気持ちです。

Q この施設で仕事をしています、嬉しかったこと、やりがいなどは何ですか？

A 開所して4年を迎えますが、まずは地域のサービス事業所の方々から「是非、利用したいと望まれる方がいます。看多機を利用すれば自宅に戻れると思うのです」と声をかけていただけるようになり、信頼を得られつつあると感じます。利用者、ご家族からの感謝の言葉は何よりのやりがいにつながっています。

Q この施設で働くことを考えている看護職の方へのメッセージ

A 在宅療養をしている利用者、ご家族の抱えている課題は多種多様です。全てのことを解決することはできませんが、看護、介護、ケアマネ、事務のチームワークで今まで経験してきた看護力を最大限に生かし、学びを得て自分自身の心の成長にもつながる職場であると考えています。



デイサービス・デイケア

施設の概要

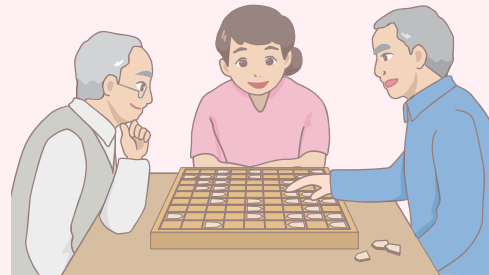
施設に通う

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤独感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを目的として実施しています。利用者が通所介護の施設に通い、日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練、グループ活動などを日帰りで提供します。



夜間の体制はどうなっていますか？

日中のケアの提供ですので、夜勤やオンコールはありません。



働いている看護職 N・Hさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A 定年を迎え、働く条件として夜勤のないところを選びました。また、就業時間も規則的だと聞いたので、仕事とプライベートの両立がしやすいのではないかと思いました。利用者も職員数も少なく、ゆったりとした看護の提供ができるのかなと考えました。

Q この施設で仕事をし
ていて、嬉しかった
こと、やりがいなど
は何ですか？

A 自宅と施設との通いなので、利用者に関わる時間は長くはありませんが、家族にも相談できないことや悩みを話してくれて、相談後に「これで元気に家に帰れる！」と笑顔で帰宅される姿を見た時には、目に見える傷を治すよりも目に見えない心の傷を治してあげられた事に、私がここにいる意味があったかなと思い、やりがいを感じています。

Q この施設で働くことを
考えている看護職
の方へのメッセージ

A 利用者との日常生活に密接に関わることができます。医師は常駐していませんが、利用者の健康状態を把握し、健康に過ごせることができるようサポートすることが求められます。利用者に寄り添う看護をしながら自分も仕事とプライベートの両立ができ、家族との時間も大切にできるデイサービスの仕事を考えてみませんか。



9

指定療養介護事業所

施設の概要

訪問・通い・宿泊 を組み合わせる

障害者自立支援法に基づく療養介護サービスを提供しています。利用者は18歳以上で障害程度区分5以上の筋ジストロフィーの方、または重症心身障がい者の方、および障害程度区分6で気管切開かつ人工呼吸器管理が必要な方となります。制度上特に定められてはいませんが長期利用が可能です。医学的管理のもと看護、介護、リハビリテーションを提供します。



夜間の体制はどう なっていますか？

医療行為がある為交代勤務をして24時間体制をとっています。



働いている看護職 R・Nさん に聞いてみました

Q どうしてこの施設を選んだのですか？

A

人工呼吸器を装着しているなど医療的管理が必要な方が多いですが、定年後もこの職場で働けるのは、慣れた環境で今まで培った技術を生かし、ストレスなく仕事が続けられると思ったからです。入所者一人ひとりが生活の場として「その人がその人らしく」暮らせるよう体力が続くうちはここで働きたいと思っています。

Q この施設で仕事をし
ていて、嬉しかった
こと、やりがいなど
は何ですか？

A

入浴時、一人ひとりの好みの湯温に調整し「気持ちいい、お風呂大好き」と言っていた時、コロナ禍で面会や外出、外泊が中止になってしまい「外へ出たい」と希望した利用者をリハスタッフとともに屋上まで連れていき「一年ぶりに外で空を見た。風が気持ちいい」と言っていた時、「あいうえお」の声に目で答える ALS の入所者が自分の思いが伝わった時はいつも「ありがとう」と伝えてくれる時、どの言葉をとっても言葉と一緒に利用者の笑顔を見ることができうれしくなります。

Q この施設で働くこと
を考えている看護職
の方へのメッセージ

A

医療依存度の高い利用者の生活を「その人がその人らしく」過ごせるように関わるには、豊かな知識や経験が役立ちます。長期に渡る生活の場として、傾聴力や共感力は利用者一人ひとりに安心感を与えます。観察力も異常の早期発見につながることも、利用者一人ひとりの新たな「持てる力」の発見にもつながります。まだまだ役立てることがたくさんあります。

介護・福祉の職場で働くことの不安



Q 1 看護師が少なく判断が求められて困ることはないでしょうか？

A 介護施設は、病気の治療目的ではなく「生活の場」での支援のため、配置される看護師は1人～数人です。看護師が大勢いる病棟とは別の責任や不安を感じたりするかもしれません。しかし、常勤医や提携している医師に相談することができ、施設内でも相談できる体制が整っています。

Q 2 他の職種との関係性はどのようにですか？

A 介護施設では、介護職やリハビリスタッフと共働き、それぞれが専門性を活かし対等な立場となります。初めは病院との違いに戸惑う場面も多いかもしれませんが、お互いを尊重したコミュニケーションが大切になります。



Q 3 医療的処置が少なく自分の技術が発揮できないことはないですか？

A 介護施設での看護師は入居者・利用者の「健康管理」が重要な仕事となります。高度な医療処置が必要な場面は少ないですが、観察とアセスメントが必要となります。入居者・利用者の医療ニーズは施設によって異なります。

Q 4 医療機関より収入が少ないと聞きますが…？

A 介護施設で働く看護師の平均年収は医療機関で働く看護師と比べると下がる傾向にあります。ただし、施設・サービスの種類、夜勤の有無などによって給料の幅があります。



こんなこと知りたかった 介護・福祉の職場!!

施設の種類	特徴	入所・利用条件
介護老人保健施設	自立支援のためADLの向上に向けて、リハビリの専門スタッフが配置されており、リハビリを提供し在宅復帰を目指している。	要介護1～5のいずれかの認定を受けている方
特別養護老人ホーム	「従来型」と「ユニット型」の2つのタイプがある。従来型は多床室、ユニット型はすべて個室となっており、1ユニット10人程度の少人数となっている。	在宅での生活が困難になった要介護度3以上（特例で要介護1, 2）の要介護者が入所可能。
介護医療院	高度な医療ケアを必要とする人でも入所することが可能。また、介護・医療だけでなく「生活の場」としての機能も併せ持っている。重度の要介護、認知症、高度な医療ケア、ターミナルケア（終末期ケア）、看取りにも対応している。	要介護1～5の認定を受けている者のうち、主として長期の療養を必要とする人が対象（I型・II型がある）
有料老人ホーム（介護付き）	運営主体が異なり、有料老人ホームは民間企業が運営する「民間の介護施設」である。	・60歳以上の高齢者の方 ・要介護認定を受けた60歳未満の方
認知症グループホーム	認知症のある要介護者が共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、介護スタッフによる入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がもっている能力に応じて自立した日常生活を営むことができる。	認知症の診断を受けた要介護1以上、または要支援2で自立して生活を送れる人かつ事業者と同一の市町村に住んでいる方が対象
訪問看護ステーション	訪問看護ステーションを起点として利用者の自宅や施設へ出向き、状態観察や医療的ケアなどを行う。	医療保険・介護保険を利用し、乳幼児から高齢者まで幅広く訪問
看護小規模多機能型居宅介護支援事業所	今まで小規模多機能では受け入れ困難だった医療依存度の高い人や、退院直後の状態が不安定な人、在宅で看取りを希望する人への在宅療養支援を可能にできる。介護と看護の一体的なサービス提供を受けることができる。	原則管轄する区市町村に住んでおり、利用する事業所の所在地に住民票のある要介護1以上の認定者が利用することができる。常時医療機関での治療の必要性がないという利用者
デイサービス デイケア	日帰りで施設に通い、体操や食事、入浴のサービスが受けられます。自宅から施設まで車の送迎がつく。デイケアはリハビリテーションに関する専門性の高いスタッフがそろっている。	要支援1～2、要介護1～5の要支援・要介護認定を受けている方
指定療養介護事業所（療養介護）	病院において医療的ケアを必要とする障がい者に対して治療を行い、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理のもとにおける介護および日常生活上の世話など、個々に応じた支援を行う。	障害者支援区分5以上に該当する重症心身障害者・進行性筋萎縮症患者等が対象となる。

一緒に働いている職種

サービス内容の特色

- 医師 ● 介護職員
- リハビリスタッフ
- 介護支援専門員
- 生活相談員 ● 栄養士

在宅復帰を目指すため、医師による医学的管理の下、看護・介護を提供し、さらに作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などのサービスまで併せて提供する。

- 医師
- 介護職員
- 機能訓練指導員
- 介護支援専門員
- 生活相談員 ● 栄養士

施設系サービス施設の中で最も数が多く、比較的費用が安い。看取りの対応も可能。
施設によっては、短期間利用する短期入所生活介護（ショートステイ）や日帰り利用する通所介護（デイサービス）を併設している。

- 医師
- リハビリスタッフ
- 介護職員
- 薬剤師
- 介護支援専門員
- 栄養士または管理栄養士など

利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、療養上の管理、看護、介護、機能訓練、その他必要な医療と日常生活に必要なサービスなどを提供する。

- 介護職員
(栄養士・薬剤師・理学療法士が配属されている施設もある)

ニーズに合わせた様々なサービスが受けられる。ホームごとに異なるが、生活の質を高める、趣味やレクリエーションが充実、健康維持や機能向上のリハビリが充実しているホームもある。

- 介護支援専門員
- 介護職員

認知症の病状の軽減、失いかけている能力を維持または引き出し、入居者本人らしい生活を取り戻していくお手伝いをしている。具体的には、利用者が共同生活を過ごしながらか、認知症の専門的なケアを受け、食事や入浴などの日常生活のサポートや機能訓練（リハビリ）などのサービスを受けている。

- 訪問リハビリ
- リハビリスタッフ

医師の指示に基づく医療行為や、医療行為以外の、排泄ケアや清潔ケア、健康状態の管理等を行う。

- 介護支援専門員
- 介護職員

小規模多機能型居宅介護に訪問看護を加えたもの、4種類（訪問看護・訪問介護・デイサービス・ショートステイ）の介護サービスを顔なじみのスタッフから受けることができる。

- 医師（デイケア）
- 介護職員
- 生活相談員
- リハビリスタッフ

レクリエーションや趣味を楽しむ場所として提供し、生け花や将棋、囲碁などを揃えている。
デイケアは加齢に伴う心身の機能低下の対策を行い、医療と介護の中間に位置する。

- 医師
- 生活支援（介護職員）
- サービス管理責任者 等

病気が進行し、日常の動作に介護が必要になった場合に、そこで、食事・入浴・着替え・排泄などの日常生活動作の介助や、筋肉の衰えの進行を遅らせるための機能訓練、その他の看護、日常生活上の相談などの支援を介護サービスとして受けられる。

長野県ナースセンターとは、長野県の委託を受け公益社団法人長野県看護協会が運営している看護職のための無料職業紹介所です。

お仕事に関するご相談 予約制 TEL:0263-35-0067

来所
相談

場所／長野県ナースセンター
松本市旭 2-11-34 長野県看護協会会館内
日時／月曜日～金曜日（祝日を除く）
8:30～17:15



巡回
相談

場所／県内のハローワーク
（詳細はホームページでご確認ください）
日時／13:30～16:00（1回30分程度の個別相談）
（日程はホームページでご確認ください）

長野県ナースセンター 検索

<https://nursen.or.jp/nurse-center/>

e ナースセンター

求人検索・問い合わせ・応募など役立つ機能が充実

e ナースセンターはナースセンターが運営する看護職のための求人・求職サイトです。パソコンやスマートフォンから手軽に登録できます。是非ご利用ください。

●登録は長野県看護協会ホームページのバナー「ナースセンター」から



ナースストリート

看護職の多様なキャリアと働き方サイト

いまや働くナースの11人に1人は60歳以上。看護のキャリアと生活経験を活かして活躍の場が広がっています。ナースストリートは60歳を超えて元気に働く看護職のエピソード、知っておきたい制度などを紹介しています。



<https://nurse-st.jp/>

